

平成 18 年 3 月期 第 1 四半期財務・業績の概況（連結）

平成 17 年 8 月 19 日

上場会社名 藤井産業株式会社 (JASDAQ・コード番号：9906)

(URL <http://www.fujii.co.jp>)

代表者 役職名 代表取締役社長 氏名 藤井 昌一

問い合わせ先 役職名 取締役社長室長兼経営企画部長 氏名 秋本 榮一

TEL (028)662 - 6018

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有

(内容)

法人税等の計算は、簡便的な方法を採用しております。また、その他影響の僅少な事項についても、一部簡便な手続きを採用しております。

最近の会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有

固定資産の減損に係る会計基準(「固定資産の減損に係る会計基準の設定に関する意見書」(企業会計審議会平成 14 年 8 月 9 日))及び「固定資産の減損に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第 6 号 平成 15 年 10 月 31 日)を当第 1 四半期より適用しております。

これにより、税金等調整前四半期純利益は 101 百万円減少しております。

連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 無

2. 平成 18 年 3 月期第 1 四半期財務・業績の概況(平成 17 年 4 月 1 日～平成 17 年 6 月 30 日)

(1)経営成績(連結)の進捗状況

(百万円未満切り捨て)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
18 年 3 月期第 1 四半期	10,237	(1.3)	37	( )	16	( )	82	( )
17 年 3 月期第 1 四半期	10,106	(8.7)	( )	( )	( )	( )	( )	( )
(参考)17 年 3 月期	46,931		669		975		466	

	1 株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後 1 株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
18 年 3 月期第 1 四半期	8	35		
17 年 3 月期第 1 四半期				
(参考)17 年 3 月期	45	00		

(注) 1. 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同期増減率を示しております。

2. 四半期経営成績の進捗状況については、当四半期より作成しているため、売上高を除き、前同四半期の実績及び増減率は記載しておりません。

[経営成績(連結)の進捗状況に関する定性的情報等]

当第 1 四半期における当社グループを取り巻く環境は、原油価格の高騰と素材価格の値上がり、半導体市況の在庫調整の局面、公共投資縮減の継続等から景気は依然足踏み状態にあります。

このような環境下、当社グループでは素材価格の上昇傾向から利益管理の強化を徹底するとともに、新ルートやオール電化商品等の新商材の拡販を推進してまいりました。

こうした結果、当第 1 四半期の売上高は 102 億 37 百万円(前年同期比 1.3%増)となりました。

一方、利益面につきましては、持分法適用会社の減損会計適用に伴って、営業外費用に持分法投資損失 59 百万円を計上したこと等により、経常利益は 16 百万円となりました。また、特別損失に減損損失 37 百万円を計上したことにより、税金等調整前四半期純損失は 20 百万円となりました。

## (2)財政状態(連結)の変動状況 (百万円未満切り捨て)

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
18年3月期第1四半期	29,192	11,240	38.5	1,137 11
17年3月期第1四半期				
(参考)17年3月期	30,218	11,392	37.7	1,150 34

## 連結キャッシュ・フローの状況 (百万円未満切り捨て)

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
18年3月期第1四半期	429	129	335	5,265
17年3月期第1四半期				
(参考)17年3月期	147	204	574	5,489

## [財政状態(連結)の変動状況に関する定性的情報等]

## (財政状態の変動状況)

当第1四半期の財政状態は、前連結会計年度末に比べて、総資産は10億26百万円減少し、株主資本は1億52百万円減少しました。資産の減少要因は、主に受取手形及び売掛金の減少、負債の減少要因は、主に支払手形及び買掛金の減少によるものであります。

## (キャッシュ・フローの状況)

当第1四半期における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べて2億23百万円減少し、52億65百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、法人税等の支払等により、4億29百万円の減少となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、当社小山支店移転用土地取得費等により、1億29百万円の減少となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金金の増加等により、3億35百万円の増加となりました。

## 3. 18年3月期の業績予想(平成17年4月1日~平成18年3月31日) (百万円未満切り捨て)

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
中間期	22,500	330	120
通期	47,100	900	440

(参考)1株当たり予想当期純利益(通期) 44円 51銭

中間期及び通期の業績予想につきましては、当第1四半期における業績が概ね計画通りに推移しており、本資料の公表日時点では、平成17年5月19日に発表いたしました業績予想から変更はありません。

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる結果となる可能性があります。

## 添付資料

- 1.(要約)四半期連結貸借対照表
- 2.(要約)四半期連結損益計算書
- 3.(要約)四半期連結キャッシュ・フロー計算書
- 4.販売の状況

## 〔添付資料〕

## 1. (要約) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

科 目	当四半期 (平成18年3月期第1四半期)	(参考) 平成17年3月期
	金 額	金 額
(資産の部)		
流動資産		
1. 現金及び預金	3,765,991	4,489,560
2. 受取手形及び売掛金	12,566,502	14,530,051
3. たな卸資産	2,924,016	1,797,217
4. その他	1,810,556	1,279,643
5. 貸倒引当金	132,308	141,888
流動資産合計	20,934,759	21,954,585
固定資産		
(1) 有形固定資産		
1. 建物及び構築物	1,383,941	1,391,112
2. 土地	3,343,525	3,268,579
3. その他	269,822	272,360
有形固定資産合計	4,997,288	4,932,051
(2) 無形固定資産	127,232	161,943
(3) 投資その他の資産		
1. 投資有価証券	1,316,278	1,352,275
2. その他	2,173,996	2,158,984
3. 貸倒引当金	357,146	341,047
投資その他の資産合計	3,133,128	3,170,211
固定資産合計	8,257,649	8,264,207
資 産 合 計	29,192,409	30,218,792
(負債の部)		
流動負債		
1. 支払手形及び買掛金	10,967,241	11,779,657
2. 短期借入金	4,010,000	3,610,000
3. その他	795,590	1,266,383
流動負債合計	15,772,832	16,656,041
固定負債		
1. 退職給付引当金	886,671	875,268
2. その他	463,906	476,392
固定負債合計	1,350,577	1,351,660
負 債 合 計	17,123,409	18,007,701
(少数株主持分)		
少数株主持分	828,705	818,362
(資本の部)		
資本金	1,883,650	1,883,650
資本剰余金	2,065,090	2,065,090
利益剰余金	7,250,457	7,411,086
その他有価証券評価差額金	91,688	83,343
自己株式	50,590	50,442
資 本 合 計	11,240,294	11,392,727
負債、少数株主持分及び 資本合計	29,192,409	30,218,792

(注)(要約) 四半期連結貸借対照表については、当四半期より作成しているため、前年同四半期については記載しておりません。

2.(要約)四半期連結損益計算書

(単位:千円)

科 目	当四半期 (平成18年3月期第1四半期)	(参考) 平成17年3月期
	金 額	金 額
売上高	10,237,897	46,931,607
売上原価	8,802,989	40,309,549
売上総利益	1,434,907	6,622,057
販売費及び一般管理費	1,472,178	5,952,547
営業利益又は営業損失( )	37,271	669,509
営業外収益	135,660	418,979
営業外費用	81,591	113,445
経常利益	16,797	975,043
特別利益		4,420
投資有価証券売却益		4,420
特別損失	37,226	40,940
1. 減損損失	37,226	
2. 投資有価証券評価損		12,040
3. ゴルフ会員権評価損		8,499
4. 貸倒引当金繰入額		20,400
税金等調整前当期純利益又は 税金等調整前四半期純損失 ( )	20,428	938,523
税金費用	48,273	416,436
少数株主利益(控除)	13,815	55,844
当期純利益又は 四半期純損失( )	82,518	466,242

(注)(要約)四半期連結損益計算書については、当四半期より作成しているため、前年同四半期については記載していません。

### 3.(要約)四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

区 分	当四半期 (平成18年3月期第1四半期)	(参考) 平成17年3月期
	金 額	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益又は 税金等調整前四半期純損失( )	20,428	938,523
減価償却費	53,479	196,543
売上債権の増( )・減額	1,963,548	526,878
たな卸資産の増( )・減額	1,126,798	40,000
仕入債務の減少額	812,415	599,937
その他	253,286	36,158
小計	195,901	12,093
法人税等の支払額	349,160	142,089
その他	115,742	277,432
営業活動によるキャッシュ・フロー	429,319	147,436
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	126,793	192,193
その他	2,995	12,505
投資活動によるキャッシュ・フロー	129,789	204,698
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増・減( )額	400,000	490,000
配当金の支払額	59,311	79,104
その他	5,148	5,596
財務活動によるキャッシュ・フロー	335,540	574,700
現金及び現金同等物の増・減( )額	223,569	631,962
現金及び現金同等物の期首残高	5,489,560	6,121,523
現金及び現金同等物の期末残高	5,265,991	5,489,560

(注)(要約)四半期連結キャッシュ・フロー計算書については、当四半期より作成しているため、前年同四半期については記載していません。

#### 4. 販売の状況

(連結売上高セグメント別内訳)

期 別 セグメント別	第 1 四 半 期			(参考)
	当四半期	前年四半期	対前年同期増減率	平成 17 年 3 月期
	千円	千円	%	千円
電設資材	5,494,016	5,343,291	2.8	24,269,308
産業システム	3,634,125	3,693,045	1.6	16,244,112
施工	1,109,756	1,069,995	3.7	6,418,186
計	10,237,897	10,106,332	1.3	46,931,607

(連結売上高セグメント別コメント)

##### (1) 電設資材

全般的に設備投資の増加傾向が見られ、件名物件の受注活動は順調に推移したものの、当第1四半期の売上高においては、大手ユーザーに対する件名物件売上が前年同期比では大きく減少しました。一方、オール電化（エコキュート・IHクッキングヒーター）商品は前年同期を大きく上回る推移となりました。これらの結果、当第1四半期の売上高は前年同期比2.8%の増加となりました。

##### (2) 産業システム

機器制御関連は受配電機器が好調に推移したものの、半導体関連市場の在庫調整の遅れから制御機器、電子機器は前年同期割れとなり、機器制御全体の売上は横這いの推移となりました。建設機械はほぼ前年同期比横這いの状況で推移しましたが、設備システムが前年同期の火力発電に関するシステムプラント物件の大口売上の反動から前年同期を大きく下回る推移となりました。これらの結果、当第1四半期の売上高は前年同期比1.6%の減少となりました。

##### (3) 施工

建設資材は、ALC工事の大型物件の完工、金属外壁工事が好調に推移したこと等から前年同期を大きく上回る推移でした。総合建築は、当第1四半期での完工物件が少なく、前年同期比では大きく減少しました。これらの結果、当第1四半期の売上高は前年同期比3.7%の増加となりました。